

## 2023年度青梅市予算編成にあたっての要望書

2022年12月19日

日本共産党青梅市議団  
市議会議員 藤野ひろえ  
市議会議員 みねざき拓実  
市議会議員 井上たかし

2023年度青梅市予算編成にあたって、以下のとおり要望します。

### 1 ジェンダー平等、市民参加の促進、平和な社会づくり積極的に取り組む市政運営を

- ◆ジェンダー平等の市政を推進するため、職員や各種審議会等の女性の割合を増やしてください。
- ◆各種審議会、協議会、検討委員会等の公募委員を増やしてください。
- ◆市民と市長の懇談会などの市民の意見を聞く場を増やしてください。
- ◆各種審議会、協議会、検討委員会等の傍聴者の定員を増やしてください。
- ◆ピースメッセンジャー事業の参加募集数を増やしてください。
- ◆戦争の悲惨さを伝える取り組みなど、平和に関する事業に積極的に取り組んでください。市民団体の戦争体験集を発行する活動などにも援助をしてください。
- ◆横田基地の撤去、米軍機の飛行中止、オスプレイの配備などの基地機能強化の撤回を米軍と日本政府に申し入れてください。
- ◆米軍機の飛行状況の把握を、国・都に求めるとともに、市としても調査を行ってください。
- ◆横田基地問題は、基地が立地する自治体や、あきる野市、日の出町など近隣の自治体と連携して取り組んでください。

### 2 子育て支援の充実、1人1人の子どもにゆきとどく教育を

- ◆児童館を建設してください。
- ◆子育て支援センター（はぐはぐ）や子育て広場は、施設数の増加と老朽化対策、よりよい施設となるように再整備を進めてください。
- ◆国に対して保育基準、保育単価を引き上げるよう要望してください。
- ◆青梅市保育士等加算補助金を増額してください。
- ◆保育園等の副食費の補助を行ってください。
- ◆学童保育の施設の整備・拡充を行い、指導員を増員し、保育環境の向上に努めてください。土曜日の学童保育を増やしてください。

- ◆子どものインフルエンザ予防接種への助成をしてください。
- ◆わかぐさ公園の子ども遊び場近くにトイレを設置してください。こどもプールのトイレの利用案内をわかりやすく表示してください。
- ◆公園の古くなった遊具を更新してください。

- ◆35人学級を早期に小学校全学年と中学校・高校に拡充すること、また、20人程度の少人数学級をめざすことを国・東京都に求めてください。
- ◆教員の多忙化を解消するように対策をすすめてください。
- ◆養護教諭を増やしてください。中規模以上は複数配置にしてください。
- ◆学校司書を充実してください。
- ◆特別支援教室の教員配置基準を児童・生徒10人に一人に戻し、さらに充実させるように東京都教育委員会に求めてください。市独自の加配も検討してください。
- ◆特別支援学級の臨時職員(介護員)や支援員等(スクールサポートスタッフなども含む)の待遇改善をはかってください。
- ◆スクールカウンセラーおよびスクールソーシャルワーカーを充実させ、就学相談や教育相談の体制を充実させてください。
- ◆学校のトイレの老朽化対策と特別教室のエアコン設置を促進してください。
- ◆学校体育館にエアコンを設置してください。
- ◆通学路の危険個所を解消してください。

- ◆教材費や移動教室、修学旅行、卒業アルバム等の保護者負担を軽減してください。
- ◆自転車通学している中学生に購入費等の補助を実施してください。
- ◆就学援助の対象に、眼鏡やクラブ活動費用を加えるなど、充実させてください。
- ◆小規模特認校についても、交通費の支援を行ってください。
- ◆高校生への返済の必要ない給付型の奨学金を復活するとともに貸与型の奨学金を充実してください。

- ◆学校給食費を無償化してください。市独自に給食費(材料費)補助を行ってください。
- ◆学校給食に地場産食材を積極的に使用し、充実させてください。
- ◆学校給食はセンター方式だけでなく、自校調理方式を拡充してください。
- ◆学校給食センターの業務を安易に民間委託するのではなく、学校給食のあり方を児童・生徒、保護者、教職員、市民も参加する会議で議論してください。

### 3 福祉、医療を充実するために

- ◆後期高齢者医療制度の窓口2割負担の中止と、保険料負担の軽減を国に求めてください。
- ◆国民健康保険財政への一般財源からの繰り入れを増やし、国民健康保険税の引き上げを止めてください。
- ◆国民健康保険税の減免基準をより充実してください。
- ◆国民健康保険税の均等割課税は、子どもを除外するなど、軽減をはかってください。
- ◆市民の健康増進のために活動(健康チェック・セラバンド体操・太極拳・認知症予防等)をしている団体のために補助制度をつくってください。
- ◆高校生の医療費助成で所得制限や200円の窓口負担をなくし、完全無料にしてください。
- ◆介護保険料を値上げしないために、国・都の負担割合の引き上げを求めてください。

- ◆介護従事者の待遇向上と事業所の経営安定のための介護報酬の引き上げを国・都に求めてください。
- ◆介護保険の低所得者の保険料、利用料の独自減免制度をつくってください。
- ◆不足している移送サービスを充実してください。
- ◆介護用ベッド等の購入やレンタル費に独自の助成制度をつくってください。
  
- ◆市独自に不妊治療費助成制度を創設してください。
- ◆新型コロナ対策として、必要としている市民が迅速にPCR検査を受けられるようにしてください。
- ◆新型コロナ患者を受け入れている病院に対する補助拡充を国・都に求めてください
- ◆市立総合病院について、医師・職員の長時間労働を見直し、安心して働ける環境を作ってください。
- ◆人間ドックの補助を拡充し、市民全員が対象になるようにしてください。
  
- ◆重度障害児の保護者に対する支援を強め、適切な保育等が行えるように環境を整備してください。
- ◆市の自立センターの老朽化対策を行ってください。
- ◆補聴器購入補助制度を創設してください。
  
- ◆生活保護基準を引き上げるよう国に要請してください。
- ◆生活保護業務を担当する現業職員は、法定標準数を配置するようにしてください。
- ◆生活に困窮している方が相談しやすく、適切に申請ができる環境を整えてください。
- ◆生活保護のしおりをホームページで閲覧できるようにするなど、生活保護制度を市民に周知してください。
- ◆生活保護者や低所得者などに福祉灯油を独自施策として支給してください。
- ◆エアコン購入への助成制度の周知徹底と、市独自にも補助制度を作ってください。

## 4 住みよい環境のまちづくりを

- ◆公共施設を3割削減する公共施設等総合管理計画を抜本的に見直すため、市民が議論する会議を設置してください。
- ◆新複合施設の基本計画の策定にむけ、新市民ホールを利用する団体・個人の意見を反映する機会をつくってください。
- ◆新複合施設の市民ホール以外の施設のあり方について、市民が参加する議論の場をつくってください。
- ◆閉鎖された施設を再開、有効活用し、楽器演奏ができる施設を増やしてください。
- ◆明星大学青梅キャンパスの購入方針を撤回してください。
- ◆東青梅市民センターは現在地で存続してください。
- ◆都立文化会館（仮称）を早期に実現するよう都に要望してください。
- ◆中央図書館や文化交流センターの駐車場は無料にしてください。
- ◆市民のスポーツ動向を丁寧に把握し、スポーツ施設の整備を行ってください。
  
- ◆コミュニティバス、デマンドタクシー等を運行してください。
- ◆東青梅駅北口にエレベーターを設置してください。
- ◆車椅子や、歩行者が安全に通れるように歩道を整備してください。

- ◆歩道にベンチを増やしてください。バス停の日よけやベンチの設置を促進してください。
- ◆市道の街路樹の剪定や雑草の繁茂対策を適切に行ってください。
- ◆交通量が増加している道路の渋滞対策を適切に行ってください。
  
- ◆市営住宅を市民の実態にあわせて整備し、低家賃の住宅を供給してください。
- ◆防災無線が聞こえにくい地域などをよく調査し、増設を含め地域の防災無線の充実を進めてください。
  
- ◆地震、水害の避難所の運営マニュアルの作成は、自治体の責任として進めてください。
- ◆地震、水害の避難場所の運営について明確にし、地域住民に開示してください。
- ◆雪害対策は、幹線道路から離れた生活道路も含めて充実させてください。
- ◆水流を良くするため霞川の雑草や雑木の繁茂対策を適切に行うよう都に求めてください。
  
- ◆市民農園や農業体験農園を増やしてください。
- ◆生産緑地・特定生産緑地の指定を促進するため、広く土地所有者等に呼びかけてください。
  
- ◆市の地球温暖化対策を強化・具体化してください。特に、公共施設の温室効果ガス排出量を大幅に削減する対策に取り組んでください。
  
- ◆物価高騰から暮らしと経済を立て直す施策を充実してください。
- ◆ダンピング規制と業界振興・労働者保護を目的とした公契約条例を制定してください。
- ◆住宅リフォーム助成制度をつくってください。
- ◆市街化調整区域でも住宅を建設できる優良田園住宅制度を作ってください。
- ◆市職員は、正規職員の割合を増やし、会計年度任用職員の待遇を向上させてください。

以 上